

セキュリティ・トークン・オファリングによる 資金調達支援

2019年2月4日

注意：当資料は株式会社世界のマルタ共和国の子会社であるSEKAI LIMITED（マルタ共和国,San Gwann,SGN）によるサービス提供であり、日本国の法律規制を受けるものではありません。

収益裏付け型セキュリティトークン

■STOとは

セキュリティ・トークン・オファリング (Security Token Offering)の略で証券トークンという意味。

■STOの仕組み

セキュリティトークンは証券会社が投資家に利益を配当する仕組みをBlockchainの機能、スマートコントラクトで行い、既存の証券会社よりも信頼性が高く早く安い仕組みが確立できます。
(資産をブロックチェーン上のデジタルトークンに変換して公開)

例えば、株・社債・オプションなど、法的に証券カテゴリーに分類されているものをトークン化し小ロットでの分割購入が可能でありしかも24時間取引が出来、契約も簡単で、手数料も安価となるので市場の活性化も期待できます。(議決権の無い株式投資)

STOが将来的に適応できる分野は広く、その大きな潜在力に期待が集まっておりトークンの価値が担保されること、仮想通貨の市況に影響されないこともあり2019年は成長が大きく期待されています。

収益裏付け型セキュリティトークン事例

Aspen Coinで約20億円を調達

コロラド州ロッキー山脈に位置する高級ホテル、St. Regis Aspenの所有者である資産管理企業Elevated Returnsは、先日行われた**証券トークン販売（STO）**を無事完了し、1,800万ドル（約20億円）を調達したことを明らかにした。

今年8月末に、同社は、実在する不動産St. Regis Aspenによって裏付けられた「**証券トークンAspen Coin**」を、認可された投資家を対象に、クラウドファンディングプラットフォームIndiegogoを介して販売した。

そして、この販売は、ICO（Initial Coin Offering）にちなんで、STO（Security Token Offering）と呼ばれ、米ドル、ビットコイン、イーサリアムでの購入が可能となっていた。

このSTOでは1,800万トークンが1トークン1ドル（約110円）で、最低単元10,000トークンで販売された。今回販売されたのは、St. Regis Aspenの価値全体の18.9%であり、残りの81.9%は販売母体のElevated Returnsが管理すると記述された。

キャッシュフロー配当付きのトークン化不動産ファンドである「ニューヨークシティ・リアルエステート・コイン（NYCREC）」、2018年第4四半期に規制SのICOを発表

f t in G+ p @ Email Print Friendly Share

September 06, 2018 12:32 ET | Source: New York City Real Estate Coin

multilang-release

NYCRECについては以下で閲覧可能である: www.nycrec.io

ニューヨーク発, Sept. 06, 2018 (GLOBE NEWSWIRE) -- ニューヨークシティの不動産の小口所有権の利益を得ることができるトークン化不動産ファンドである「ニューヨークシティ・リアルエステート・コイン (New York City Real Estate Coin: NYCREC)」は、規制S*の証券トークン (STO) が2018年第4四半期に開始されることを発表した。

ニューヨークシティ・リアルエステート・コインとは何であるか？

NYCRECは、ニューヨークシティの不動産に特化した世界初のトークン化不動産ファンドであり、機関投資に適したクオリティを備えた不動産・金融運用チームによって運営されている。NYCRECのトークン所有者には、以下のような利益が提供される目標である。

- NYCRECポートフォリオの資産のキャッシュフローから定期的に配当金を提供し、配当金はトークン所有者にイーサリアム (Ethereum: ETH) エアドロップの形式で配布される。
- 一般的に投資対象範囲が狭い同様の不動産投資信託 (REIT) よりも柔軟性と多様性が高い、不動産のマネージドポートフォリオである。

Profile

New York City Real Estate Coin

Subscribe via RSS

Subscribe via ATOM

Javascript



Available languages

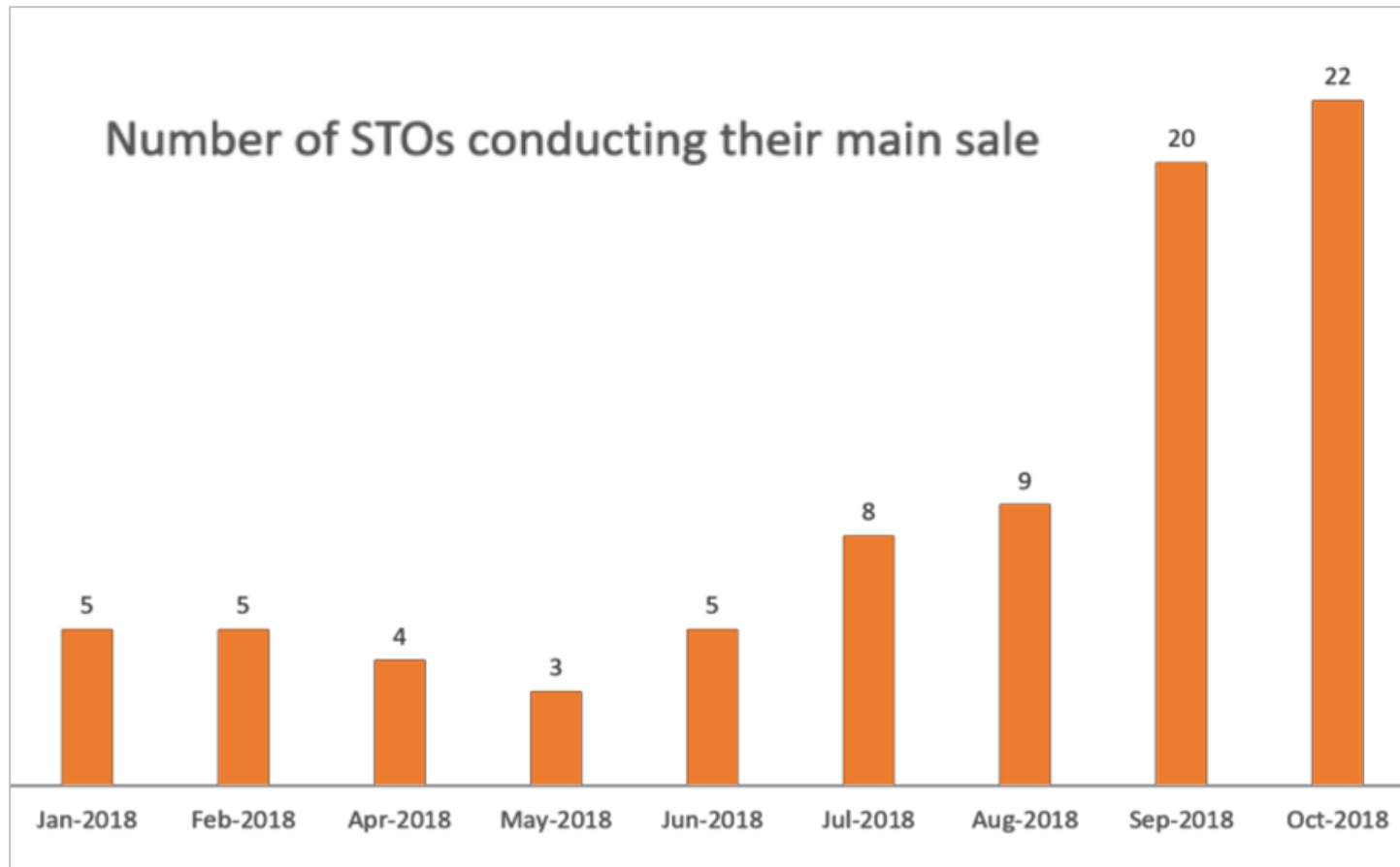
Japanese

Media Files

 **New York City Real Estate Coin Logo**
 LOGO URL | Copy the link below
<http://globenewswire.com/Att...>

STO（セキュリティトークンオフリング）による調達の実況

2018年より多くのSTOがスタートされており、現在120以上のプロジェクトがSTOによる資金調達を開始している。



シンガポールスキーム

シンガポールでトークン化資産の実装成功

シンガポール金融管理局（以下MAS）とシンガポール証券取引所（以下SGX）が11月11日に共同で発表した公式リリースによると、MASとSGXがトークン化資産のブロックチェーンを実装した決済システムの開発に成功したことが明らかになった。

また今回発表されたDelivery versus Payment（DvP）システムでは、有価証券取引後処理（ポスト・トレード）をスマートコントラクトによって簡素化し、決済サイクルを短縮することが出来る事が明らかになった。

ブロックチェーンインフラを構築するシンガポールのスタートアップ **ICHX Tech** が、シンガポール証券取引所（SGX）、および Temasek Holdings 子会社の Hecolima Capital Management から資金を調達したことを発表した。金額は非公開である。

この資金調達後、同社は金融業界において長年実績のある、SGX のエグゼクティブ VP 兼株式・債券部門トップの Chew Sutat 氏、Monetary Authority of Singapore（シンガポール金融管理局、MAS）の元特別顧問（財務監督）でアシスタント MD である Chua Kim Leng 氏を取締役員会に迎え入れた。ICHX Tech は今回新たに調達した資金を活用し、資本市場プラットフォーム「iSTOX」のさらなる開発を進めていく予定。iSTOX は、セキュリティ・トークン・オファリング（STO）を通じた新たな資金調達法を企業に提供している。

STO は iSTOX 上で資金調達を目的に発行され、証券先物法により証券として定義される。STO は株式や債券、実物資産など様々な既存資産、あるいは事業・プロジェクトの見込み収益や利益に裏付けされるものである。また、資産を分割所有することもできるので、企業側は将来的により幅広く多様な投資基盤を構築することが可能になる。さらに、iSTOXは二次的プラットフォームを提供しており、投資家はSTOの流動的な活用も可能。

STOに必要な全体像

■ チーム構成戦略

ボードメンバー充実

事業を100%理解する英語圏または・中華圏ネイティブ
登壇、交渉などボードメンバーとしての役割を担う人材
(当初はアドバイザーを予定)

■ ビジネスモデル戦略

(市場調査、競合調査、協業模索、事業計画書算定)

- ・ トークン設計構築、トークンアロケーション戦略
- ・ SNS戦略 (facebook Twitter Medium)
- ・ ファンドレイジング (投資家紹介)
- ・ KYC AML 対策
- ・ 弁護士におけるスキームすべて (STOは私募債発行)
- ・ 継続的成長戦略 (事業成長)

■ 制作物

WP WEB 提案書 OnePager 動画 SNS など
WOW効果と堅実な事業がどのように世界市場に影響し、
どのように世界を取りに行くのか？
プロジェクトが収益を確実に上げながら成長できることを
投資家にわかりやすく説明
(現状コンテンツの加筆・修正します)

■ スキーム

ICOからSTOへの移行



■ セール

ファンドレイジング & ネットワーク販売

- ・ 中国 台湾 香港
- ・ シンガポール
- ・ インドネシア
- ・ マレーシア
- ・ ドバイ
- ・ スイス
- ・ ロシア